

◆特集 患者への医学情報提供◆

さわやか学習センターのボランティア活動

竹内 和泉

I. はじめに

聖路加国際病院では、医療情報提供の1つの場として1999年10月18日に「さわやか学習センター」を開設された。看護部が中心となり、ボランティアコーディネーター、司書、薬剤師からなる運営委員会が運営しているが、そこにボランティアが駐在して利用される患者や家族、その他訪問者の方々に対応しているのでその活動を述べる。

II. さわやか学習センターの概要（設備）

さわやか学習センターには、病院2階外来部門の一角に約45㎡のメインルームと、15㎡のビデオ視聴覚室がある。メインルームの室内はゆったりとくつろいで読書できる雰囲気にと、壁紙には緑の葉っぱのデザインを用い、北欧調の机2台と椅子11脚が中央に置かれている(図1、2)。

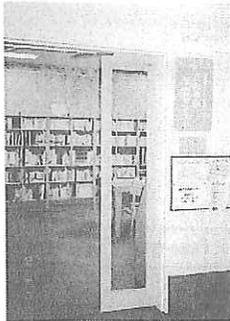


図1 入口



図2 メインルーム

書棚には、医師や看護師が選んだ約500冊の図書が並べられ、これらは司書が整理・登録・管理している。反対側の壁際にはパソコン2台と、約36種類のパンフレットを備えた棚がある(図3)。他にビデオテープ54本、人体模

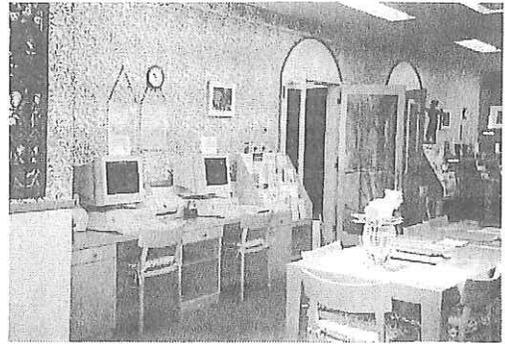


図3 パソコン、パンフレットの常備

型なども置かれている。また、何時でもコピーできる様に複写機1台も設置されている。部屋の隅には観葉植物があり、ボランティアの心づくしの花も机の上に飾られている。

III. さわやか学習センターの目的

1. 患者・家族(以下・利用者)が自分の病気や治療について自ら情報を得たり、学べる場を提供する。
2. 利用者が健康に関して医療者側に気軽に相談できる場を提供する。
3. 必要時、専門領域の看護師が利用者の相談に応じる。
4. 利用者同志の情報交換の場、外来の待ち時間を有効に過ごす為の場を提供する。

TAKEUCHI Izumi

聖路加国際病院ボランティアコーディネーター
takeizu@luke.or.jp

IV. 利用時間・内容

1. 利用時間

月曜～金曜日、毎日 9 時～15 時。土日・祝祭日は休みとなる。

2. 利用内容

(1) 図書

医師や看護師が選んだ医学関係図書を自由に閲覧できる。貸し出しは、入院患者のみ一日できるが、外来者にはしていない。

(2) パンフレット

各自自由に持ち帰りできる。

(3) ビデオライブラリー

当院の入院生活の案内や、病気に関するビデオを見ることができる。時に手術を受ける幼児の親に医師の指示で、オリエンテーションのビデオを見せることもある。

(4) パソコン

インターネットに接続し、健康情報についての検索ができる。プリントアウトは有料。E-mail はできない。

(5) その他

ここでの飲食、喫煙はお断りしている。さわやか学習センターで提供された情報は一般的なものである旨を掲示している。

V. 利用状況

外来受診の待ち時間や入院中の方、その他外部からも利用できる。2001 年 4 月から 2002 年 3 月までの利用者総数は 7,566 名で、月別利用者の数、および内容は表 1 の通りである。

利用の多い順から見ると、なんとなくぶらりと見学が 3,132 件、図書閲覧が 2,346 件、パソコン使用が 799 件、パンフレット利用が 654 件となっており、相談も 127 件あった。

開設当時から 2002 年 3 月までの相談内容の多くは疾患についてで、104 件あった。その内訳は、自身の疾患についての相談が 76 件、家族の疾患についてが 28 件であった。その他、療養上の注意について 32 件、検査結果について 27 件、セカンドオピニオンについて 20 件、センターの利用法、資料、インターネット 19 件、よろず相談 18 件、入院にあたっての室料差額料金について 3 件、患者会について 1 件である。

VI. ボランティアの役割

1. ボランティアの配置

ボランティアは 8 名で、9 時～15 時を一人で活動する日もあれば、午前と午後に分けて活動する日もある。メンバーの半数は主婦であるが、かつて薬剤師や看護師として活躍した者が 4 名いる。

2. ボランティア活動の実際

(1) 環境整備

- ①開館と同時にパソコンと、複写機のスイッチを入れる。
- ②机の上の清掃、花の水換え。
- ③図書、パンフレットなどの整理整頓。

表 1 さわやか学習センター利用状況 (2001 年度)

項目 \ 月	Apr-01	May-01	Jun-01	Jul-01	Aug-01	Sep-01	Oct-01	Nov-01	Dec-01	Jan-02	Feb-02	Mar-02	計
ぶらり・見学	292	244	310	295	190	296	326	242	144	227	321	245	3132
パンフレット閲覧	57	74	52	57	30	57	55	46	34	57	65	70	654
パソコン使用	68	71	54	90	51	70	96	67	38	57	58	79	799
コピー	23	35	21	21	16	30	35	38	13	23	26	27	308
図書閲覧	189	211	231	271	140	223	230	178	128	149	190	206	2346
図書貸出	6	9	3	4	2	14	11	7	2	1	17	5	81
ビデオ	12	10	28	12	11	3	7	10	6	4	4	3	110
相談	14	12	11	13	2	7	5	23	2	11	12	15	127
その他	0	2	0	2	0	3	0	1	1	0	0	0	9
計	661	668	710	765	442	703	765	612	368	529	693	650	7566

④室温の調整。

(2) 利用・相談者への対応

①図書を選択とパソコンの利用

利用者自ら本を選択される方もあるが、知りたい情報が書いてある図書を見つけれない方には、ボランティアと一緒に探したり、パソコンで検索する方法を教えることもある。

②利用者の相談に対応

相談の多くは前述のとおり、自身や家族の疾患についての理解や悩みについての相談である。看護師や薬剤師の資格のあるボランティアはある程度相談に乗ってあげられるが、一般の主婦で対応が困難な場合は、運営委員または看護部に連絡をとり、専門家に来て貰うなど、その都度対応している。

③利用者指導の支援

当センターでは、毎月1回「血圧の正しい測定」の勉強会を無料でおこなっている。

VII. おわりに

開設から約2年半が経過した。さわやか学習センターの存在も徐々に知れ渡り、年々利用者の数が増えて軌道に乗ってきた。しかし、医学の進歩に伴い新しい知識も要望されるので、図書の刷新が望まれ、毎月開かれる運営委員会に提案している。又、必要とされる情報は、病院医学図書館の司書と連携をとれるようにしていきたいと考えている。利用者の健康に関する意識が強くなってきているので、当センターで、小グループへの健康に関する教育プログラムの充実を図らなければならないと考える。

参考文献

- 1) 河合富士美.患者さんへの図書サービスハンドブック.「さわやか学習センター」の紹介.全国患者図書サービス連絡会.東京.大活字. 2001. p.304-308.